

# けもの!!

## がいふせ の害を防ぐには？

獣害対策の  
基礎知識



お問い合わせ先

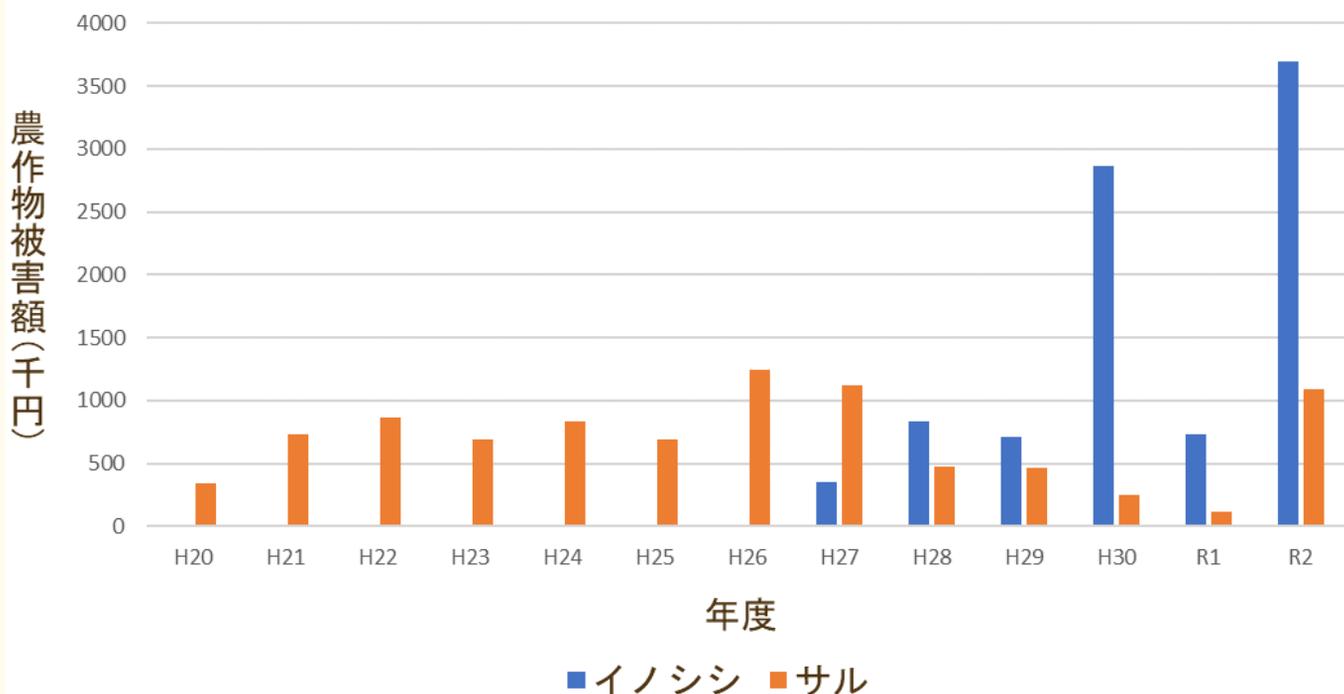
五泉市有害鳥獣対策連絡会議 TEL: 0250-43-3911

# 「害獣(けもの)による被害」とは？

## 農作物被害について

五泉市では、平成27年度以降、イノシシによる農作物被害が増加し、令和2年度には350万円を超える被害が出ています。サルの被害は、平成26年度から令和元年度にかけて減少していましたが、令和2年度に再び100万円以上の被害が出てしまいました。

### 五泉市農作物被害額(千円)



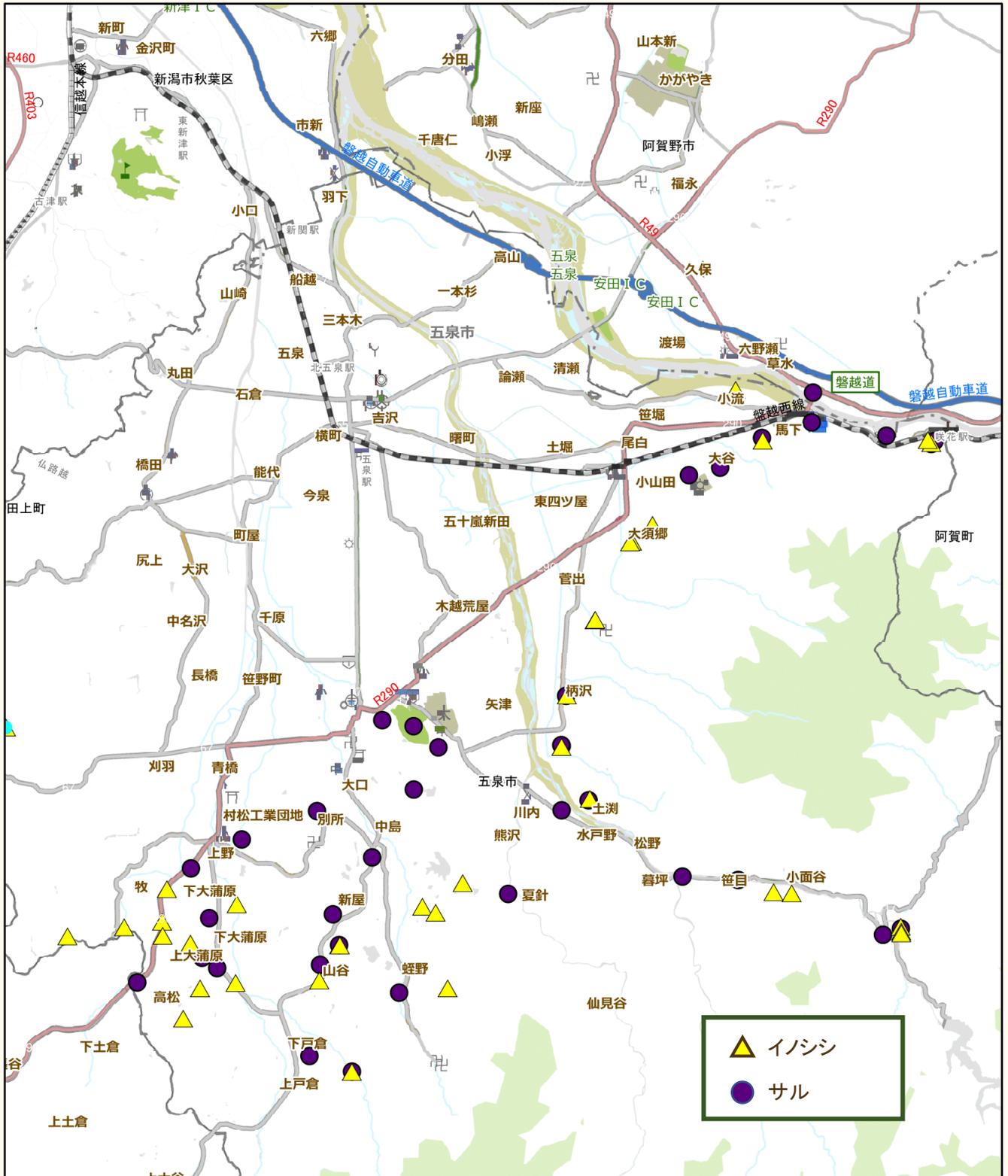
農業被害を放っておくと、けものが頻繁に出没するようになり、人身事故にまで繋がってしまいます。

獣害は、決して農業者だけの問題ではありません。地域みんなで協力して取り組む問題となってきています。獣害対策をみんなで行うことによって、地域活性化につなげている事例もあります。皆さんも集落ぐるみの獣害対策をはじめてみませんか？



# 五泉市内の出没状況

令和2年度のイノシシ・サルの出没状況



※出没状況の詳細は五泉市HPで確認できます。

# なぜ、害獣(けもの)は人里に？

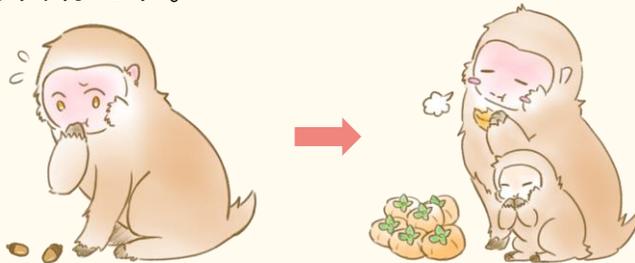
## 「エサ」と「侵入経路」が出没のカギ

けものが人里に降りてくる理由は共通しています。彼らは「**安定したエサ**」と、それを安全に食べに行ける「**侵入経路と隠れ場所**」がある所から人里に出入りします。出没が絶えない場所では、この2つの条件が揃ってしまっている可能性が非常に高いです。



## 安定したエサとは…

人里で育てられている作物や果実、生ごみは、けものが山で食べているエサよりもずっと栄養があり、安定して手に入れることができます。一度、人里のエサが「おいしい」と気付いてしまったけものは、しつこく人里に降りてくるようになってしまいます。人里にけものが来ないようにするには、人里のエサを食べさせないことが最も大切です。



人里で良い思いをしたけものは、元の食生活に戻れなくなります！

## 侵入経路と隠れ場所

けものはエサを探すうちに、林の周りや水路沿いの見通しの悪いやぶを通して集落にたどり着きます。その時に人里の食べ物を食べてしまうと、おいしいエサを探す目的で、人里に侵入するようになってしまいます。

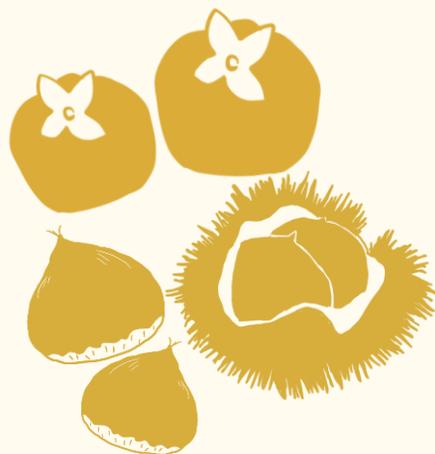
# 「対策の三本柱」とは？

## 環境整備・被害防除・捕獲

獣害の対策では、人里周辺を「けものが居着きにくい環境」に維持する必要があります。主軸になる対策はけものの種類によって少しずつ変わってきますが、基本的な流れや構造については共通です。このページでは、あらゆる獣害対策の基本となる「**対策の三本柱**」についてご紹介します。

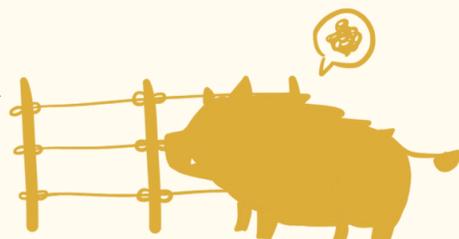
### 環境整備

作物として育てられていない果樹や野菜の余り、家庭の生ごみなど、人にとって価値がない「エサ(誘引物)」や「侵入経路(やぶ)」の管理を行います。畑周りだけでなく、個人宅や河川など広い範囲での対策が必要です。なお、広範囲のやぶを刈り払う緩衝帯整備は、周辺のエサの管理を同時に行わないと効果が薄くなるので、対策が偏らないよう注意しましょう。



### 被害防除

主に農作物被害を防ぐため、防護柵による防除を行います。防護柵には、ワイヤーメッシュやトタンで頑丈な壁をつくる物理柵と、電気による痛みで侵入を防ぐ電気柵がありますが、新潟県内では積雪時に取り外せる電気柵の使用が一般的です。においや光などの刺激でけものを追い払う「忌避具」は、けものが慣れると効果がなくなってしまいます。道具の性能やけものに合わせて、うまく使い分けましょう。



### 捕獲

獣害対策における捕獲は、けものの数を制御するための「個体数管理」と、畑などに悪さをしている特定の個体(加害個体)を狙って捕る「加害個体の捕獲」の2つの目的に大別されます。イノシシの対策では、畑に悪さをしている加害個体を狙った対策と同時に、全体の数を減らす事を考えなくてはなりません。サル対策では、群れの動きを制御する、という特殊な考え方も必要になってきます。



# 被害対策チェックポイント

## 獣害対策は計画的に

獣害対策を進める前に、どんな問題が身の回りにあるのかを調べてみましょう。個人ですぐに始められる対策もあれば、集落で話し合ったり、行政と相談しながら進めなくてはいけない対策もあります。対策を考える際に以下のチェックポイントを参考にしてください。

	チェック項目	✓
体制整備	獣害対策は、地域全体の問題として集落みんなで取り組んでいる。	
	獣害対策について、みんなで話し合う場を設けている。	
	被害防止の目標を立て、具体的な取り組みを決めている。	
	被害を受けたら、すぐに対処して繰り返し被害を受けないようにしている。	
環境整備	誰も管理していないカキやクリなどの果樹は、すべて収穫するか、伐採するなど適切に管理している。	
	野菜の余りは、農地にそのまま捨てずに、穴に埋めたり防護柵の内側に入れるなど、けものをおびき寄せないように処理している。	
	水稻の収穫後は「ひこばえ（2番穂）」が生えないように秋起こしをおこなっている。または、雪が降るギリギリまで電気柵を設置している。	
	竹やぶを管理して、タケノコをできるだけ収穫している。	
	使われていない農地の雑草や農地と山の中の草木などを刈り払い、けもの隠れ場所を減らしている。	
被害防除	電気柵などの防護柵は、集落で話し合って設置・管理を行っている。	
	けものに侵入されたときは、すぐに対処して防護柵の改善を行っている。	
	電気柵は、漏電しないように定期的に草刈りを行っている。	
	毎日、電気柵の電圧を測定し、一定の電圧（5kV以上）を維持している。	
	防護柵は、地形に合わせて隙間の無いように設置している。	
	ダミー柵（ビニールひも、有刺鉄線、通電していない電気柵など）を設置していない。	
	電気柵は、24時間常に通電している。	
その他	光や音、臭いによる忌避効果を狙った資材を常用していない。	
	集落に来ているサルの群れの数、群れの頭数、加害群度が分かっている。	
	サルが出没した時に人を集める連絡網があり、複数人で追い払いを行っている。	
	集落の大多数が、サルを見たら必ず追い払いをしている。	
	追い払いは、花火以外（エアガンやパチンコ等）の方法も使っている。	

# 生態について

## イノシシの生態

### 食性

雑食性で、土中の根っこなどを掘り起こして食べています。

### 身体能力

五感の中では嗅覚が特に優れており、70kgのものを鼻先で持ち上げるほどの力を持ちます。夜も行動しますが、基本的には昼に行動するけものです。

### 繁殖

繁殖能力が非常に高いのが特徴で、春に平均4頭から5頭を出産します。春の子供が夏までに死んでしまうと、秋に同じだけの数の子供を産む事があります。



### 被害の特徴

食べものを探す際の地面の掘り起こしや、水田での泥浴び（ヌタ打ち）による被害が生じます。

## 環境整備

エサや隠れ場所が多い場所ではイノシシの行動範囲がせまくなり、周辺に住み着くようになってしまいます。耕作地のすぐ横に使われていない農地や見通しの悪いやぶがある場合は、使われていない農地の管理も行なうようにしましょう。

## 被害防除

イノシシの被害作物は水稻、果実、野菜、イモ類など多岐にわたります。水稻では食害以上に、泥浴び（ヌタ打ち）によって広範囲の水稻に悪臭が移る被害が問題とされています。物理柵も有効な対策ですが、物理柵は積雪に弱いため、新潟県内では電気柵での対策が主流となっています。

## 捕獲

被害を減らすためには、まず畑の周辺に住み着いた「加害個体」の捕獲を行ないます。イノシシは非常に繁殖能力が高いけもののため、個体数の管理という観点からも捕獲を行なう必要があります。獣害対策のための捕獲では、狩猟とは少し異なる考え方が必要になるので、注意が必要です。

# 生態について

## サルの生態

### 食性

雑食性で、人間に近い食べ物を好みます。

### 身体能力

手先が器用なけものです。ジャンプ力やバランス感覚に優れ、木や送電線の上なども移動します。視覚に頼っているため、基本は日中に活動します。

### 繁殖

メスとその子供を中心に10数頭から100頭規模の群れを作り、決まった行動範囲の中で動いています。オスは成熟すると群れから離れて行動するので、『離れザル』として目撃されることがあります。



### 被害の特徴

食中毒などを防ぐため、食物を少量ずつかじる習性があります。群れで行動するため、一度の出没で広範囲に被害が生じます。また、サルがなわばりと認識した場所では、威嚇行動が目立つようになります。

## 環境整備

人に慣れたサルは、屋内にも侵入するようになります。畑に野菜の余り(生ごみ)や果実を残さないだけでなく、収穫した作物の管理にも注意を払いましょう。周期的な動きをするけもののため、群れの中心にいるメスに発信器を取り付けて行動を把握しておく事で、追い払いの体制を整えることができます。

## 被害防除

果実や野菜、水稲やイモ類など、幅広い作物に被害がおよびます。ジャンプ力があるけもののため、電気柵を張る時には、周囲の木や電柱を伝って柵の中に入らないか確認する必要があります。人に慣れると家屋侵入などの積極的な行動も取るようになるため、群れを居着かせないための「追い払い」を集落全体で行う事が重要です。

## 捕獲

サルは、群れ全体の管理が重要なけものです。リーダーを担う年長メスを捕殺すると群れが分裂し、逆に被害が増える事が分かっています。加害個体の捕獲をする際は群れの動きや構成を見極め、群れ全体の統制を崩さないように捕獲を行ないます。

# ツキノワグマの対策について

## ツキノワグマの生態

### 食性

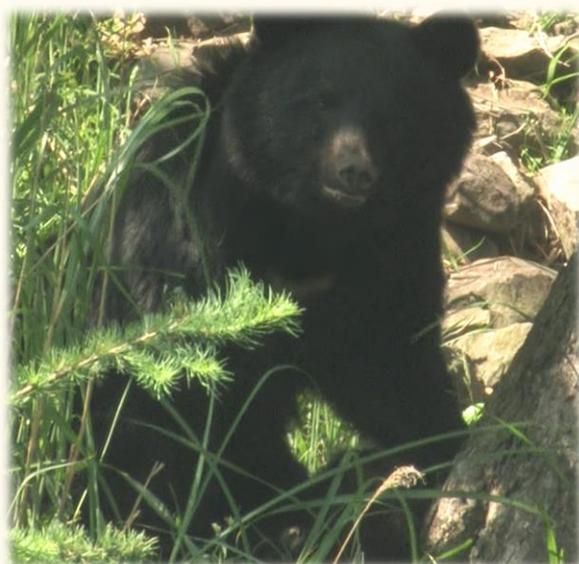
ドングリ類などの植物を主食とする雑食性です。山の植物が不作の年は、食べ物を探して広範囲を移動する習性を持ちます。

### 身体能力

鋭いツメの前脚で器用に木を登ったり、穴を掘る事ができます。嗅覚は優れていますが、目は良くなく、動かないものを認識できない場合があります。時速40kmで走ることができます。

### 行動の特徴

昼行性ですが、人里周辺に来る時は、早朝や夕方に活発になると言われています。



## クマの1年

クマは季節に応じて食べ物や生活の場所を変える動物なので、出没の場所は事前に予測することができます。クマの生態を理解し、クマが好む場所を避けるようにしましょう。

冬が近づくと、クマは冬眠のための巣穴を探ようになります。納屋やガレージがあるとクマが入り込む場合があります。



冬眠(12~4月)  
出産(1~2月)

冬ごもり  
明け

冬

冬眠から目覚め、  
山菜や液果  
(キイチゴやサクランボなど)  
を食べます。



子育て

春

交尾期  
(ひとり立ち)



冬眠するための  
巣穴探し

秋

冬眠のための  
エサ探し

どんぐりやクリ・カキなどを食べます。

夏

エサ不足  
樹上で避暑



親離れした若いクマが、  
エサ場を探して行動範囲  
を広げる時期です。

# クマを寄せつけないために

## クマが近づかない環境づくり

クマが人里に降りてきてしまうのは、人里に「**安定したエサ**」と「**侵入経路と隠れ場所**」があるからです。この2つを減らして安心して暮らせる環境を整えていきましょう。

### クマをおびき寄せるエサをなくそう！

人が作っている果樹や農作物は栄養価が高く、クマにとってはごちそうです。クマはなわばりがない動物のため、栄養価の高いおいしいエサがある場所には何頭も集まってしまいます。収穫しない果樹や野菜の余りなどクマのエサになってしまうものは、なくしていきましょう。

- 庭先のカキやクリは放置せず、早めに収穫する。
- 果樹はトタンを巻いたり、電気柵で囲う。
- 家庭の生ごみを野外に放置しない。

 クマは記憶力がとても良いです。クマの痕跡(フンや爪跡)のある果樹は優先的に対策を行いましょう！

### クマのフン



カキを食べたときのフン



クリを食べたときのフン

### クマの爪跡



### クマが通る経路をなくそう！

クマはエサを探すために広範囲に移動します。川沿いや高速道路沿いのやぶは、山から人里まで下りるクマの通り道になってしまいます。集落内に点在しているやぶもクマの隠れ場所になってしまいます。できることから見通しを良くしましょう。

- 人通りの多い場所から優先的にやぶを刈り払う。



# クマに遭遇しないために

## クマとの出遭いをさけるために

### 事前にクマの出没情報を確認しよう

クマの出没情報や痕跡(フンや爪跡など)があったところにはなるべく近づかないようにしましょう。また、クマの活動が活発になる早朝や夕方の外出はなるべく控えるようにしましょう。

### クマに避けてもらうためのポイント

- 2人以上で行動する。
-  2人で出かけても、ばらばらで行動しては意味がありません。お互いが見える範囲で行動を！
- 鈴やラジオで音を出して、「ここに人がいるよ！」アピールをしましょう。
-  雨の日は音やにおいが伝わりにくく、遭遇しやすいので特に注意！

## クマに出遭ってしまったら

事前の対策をしても、クマと遭遇することもあります。パニックにならず、クマや周囲の状況を意識して、正しく行動しましょう。

### とにかく 落ち着いて！！

こちらと同じで、クマも「逃げる機会」をうかがっています。クマと遭ってしまったら目を合わせず、**ゆっくり後退して距離をとりましょう**。  
クマに背中を見せて走ると、追いかけてくる可能性があります！絶対に**背中を見せて走ってはいけません**！

### 防御姿勢で命を守る

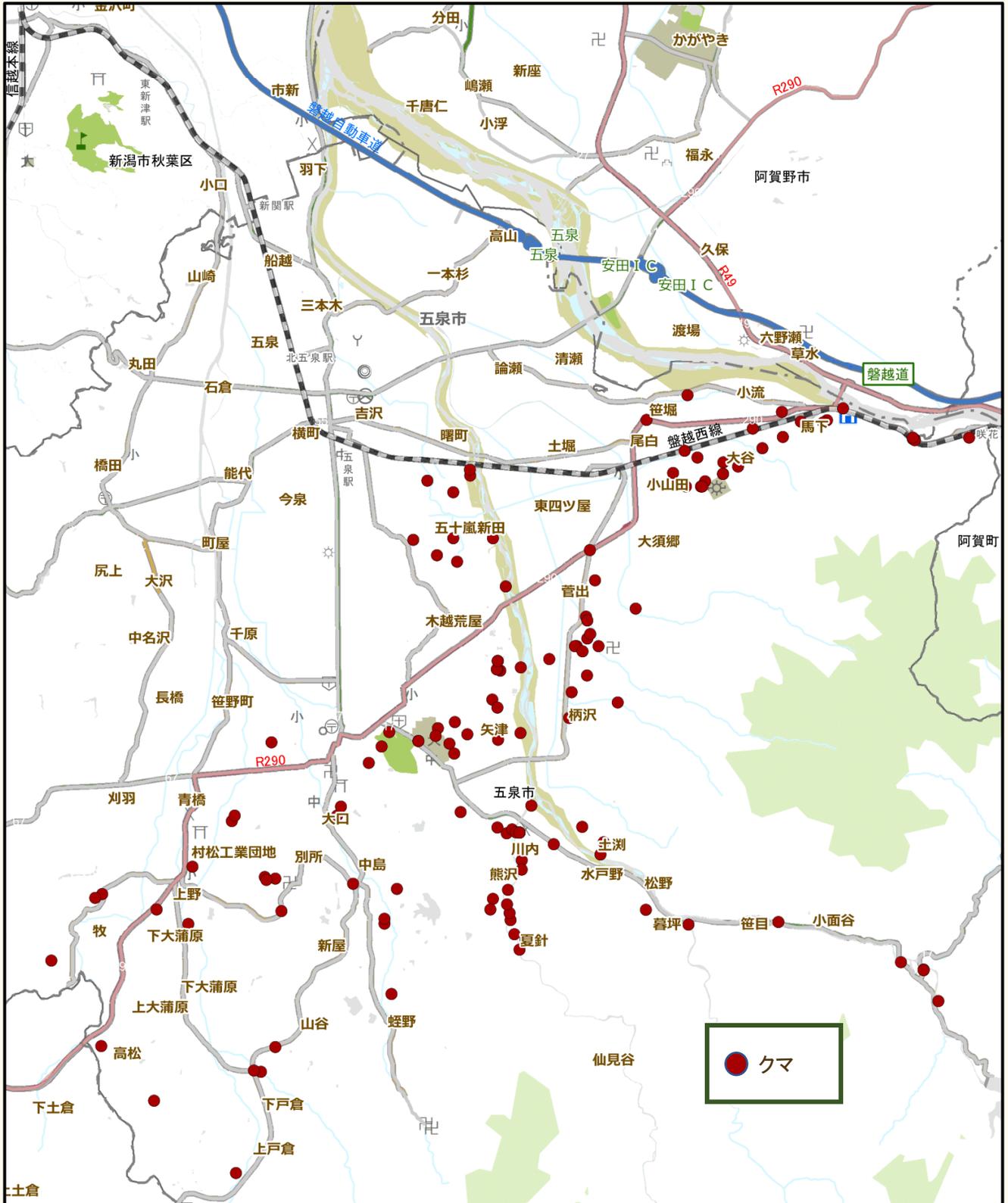
クマに攻撃されそうになったときは、地面に伏せて顔・首・腹を守る体勢をとりましょう。足をしっかり広げておくと、クマが転がそうとしてきても踏ん張ることができます。致命傷を受けてしまう可能性が高いため、背中を向けて走ったり、反撃をしないで下さい。



クマから身を守る防御姿勢

# 五泉市内の出没状況

令和2年度 クマの出没状況



※出没状況の詳細は五泉市HPで確認できます。